



岡山県聴覚障害者センター広報紙 センターだより

VOL.82
2025年・冬号

表紙写真：お昼休みのミニ手話教室が400回を迎えました

今号のトピック

2025年を振り返って

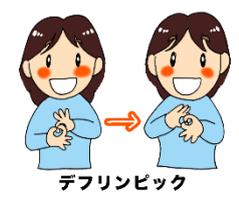
■ 所長 神田康弘

東京2025デフリンピック

令和7年11月15日(土)から11月26日(水)まで、東京2025デフリンピックが開催され、郷土勢では、走高跳の佐藤秀祐選手、400mハードルの石本龍一朗選手、デフバドミントンの片山結愛選手、デフサッカー女子の小森彩那選手が出場しました。選手は、所属する企業、在学する大学や家族その他多くの関係者の皆様からの

応援を受けて、それぞれの競技に取り組みました。成績は、次のとおりでした。この大会を通じて選手の皆様は、日頃の成果を十二分に発揮され、それぞれ見事な成績を収められました。こうした経験を踏まえて、さらに活躍されることを期待しています。

氏名	出場競技	成績	摘要
片山結愛	バドミントン混合団体	金メダル	決勝 3-1 vs China
小森彩那	デフサッカー	女子銀メダル	決勝 0-4 vs USA
佐藤秀祐	走り高跳び	5位	決勝 1 m 86 cm
石本龍一朗	400 mハードル	8位	決勝 56 秒 86



電話リレーサービス・ヨメテル体験登録会

聴覚障害者のコミュニケーションツールとして利用されている電話リレーサービスが公共インフラとして整備されてから、4年半が経過するとともに、ヨメテルが始まってから、約1年となります。

月27日(水)に真庭市役所の久世保健福祉会館で体験登録会を開催しました。日本財団からは、それぞれ電話リレーサービス・ヨメテルの各講師にお越しいただき、多くの参加者のもと、サービスの説明、実演等を行っていただき、大変好評でした。

岡山県聴覚障害者センターでは、毎年、県内市町村のご協力をいただき、地域の公民館等をお借りして、電話リレーサービス・ヨメテル体験登録会を計画し、開催しています。センターだより80号でもご紹介いたしましたが、令和7年度は、8

令和8年度においても、県内のいずれかの市町村で開催を計画いたしますので、センターのホームページ等でご確認の上、ご参加をお願いいたします。

よいお年をお迎えください

皆様におかれましては、今年1年、いろいろとお世話になりました。新しい年もどうぞよろしくお願いたします。よいお年をお迎えください。



「お昼休みのミニ手話教室」が 400 回をむかえました

毎月第一、第三木曜日にきらめきプラザ内に勤務する団体職員を対象に「お昼休みのミニ手話教室」を2階のゆうあいセンター前で行っています。今年7月で400回を迎えました。2007年5月に始めて18年です。

第400回は、「東京2025デフリンピック」をテーマに学習し、大会を盛り上げるために日本の手話をベースに創られた“サインエール”を紹介しました。

今後も、館内に手話でのコミュニケーションの輪が広がっていくことを願って手話教室を続けてまいります。



イベントのご報告

手話リンクを体験しました

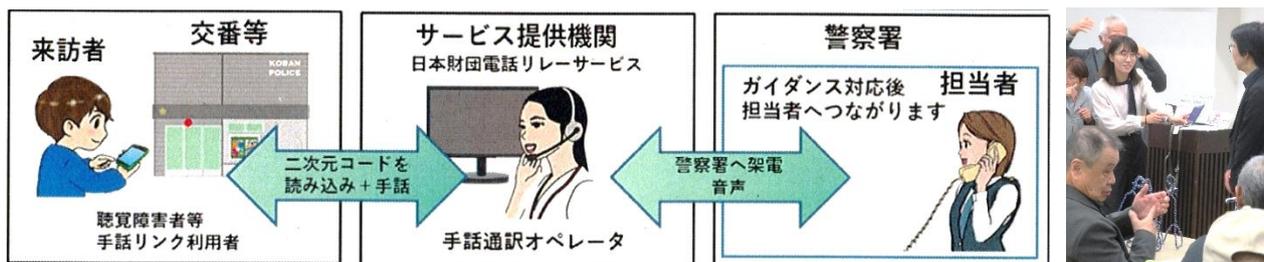
12月21日(日)にきらめきプラザ401会議室で、梶谷福祉基金事業を活用した「高齢聴覚障害者の集い」を開催し、57人の参加がありました。午前は「笑いヨガ」で楽しく体を動かし、午後は手話リンクの説明を聞きました。

手話リンクとは、きこえない人が手話で問い合わせができるサービスです。法人の公式サイトの特設ボタンを押すと手話通訳オペレータにつながり通訳してくれます。事前の利用登録は不要で、手話を使う人が、より気軽に、便利にお問い合わせができるバリアフリーな仕組みです。岡山県内でも役所や警察などで導入が進んでいます。

今回は岡山県警の担当者が来訪し、手話リンクの利用方法を説明しました。交番や駐在所に行っ

た時、警察官が不在の場合があります。聞こえる人は設置されている電話で呼び出すことができますが、聞こえない人はそれができませんでした。今後は、交番や駐在所に備え付けられているQRコードから、手話リンクで管轄する警察署へ手話で電話ができるようになります。この日、参加者が実際にQRコードを読み込み、手話リンクを利用してみました。体験した参加者は、「スムーズに警察署へ電話につながり、便利だと思った」と感想を話されました。

※ 岡山県警の手話リンクは令和8年1月16日からの運用予定です。



研修会のご報告

遠隔要約筆記研修会 〈要約筆記者養成事業(現任研修)〉

9月14日(日)から全8回で遠隔要約筆記研修会を開催しています。今年度は、参加者のスキルや目標に応じた複数のコースを企画しました。

第1回と第2回はZoomを学ぶ初級コースで、のべ39人の参加がありました。第3回は、手書きによる遠隔要約筆記の実習を行い、13人の参加がありました。

第4回～第6回は、captiOnline(キャプションライン)を使ったパソコン要約筆記の実習を行い、のべ31人の参加がありました。参加者の中には初めてcaptiOnlineを使う人もいましたが、実習を重ねる操作に慣れてくると、便利な機能が多く普段派遣で使用するソフトより使いやすいとの感想がありました。第7回と第8回は1月に開催します。

イベント お知らせ 参加費無料

主催・申込み・問合せ 岡山県聴覚障害者センター

FAX 086-224-0236 電話 086-224-0221 E-mail okatyo@kirameki-plz.com

いずれも手話通訳・要約筆記つき。参加費は無料です。悪天候等の状況により中止又は延期となる場合がありますので、センターのHPをご覧ください。



1

災害救援専門ボランティア研修会 災害に備え、防災意識を高めよう

近年、全国各地で大規模な自然災害が発生しています。いつ、どこで起こるかわからない災害から、ご自身や大切な人を守るためには、日頃からの「備え」と「意識」が不可欠です。今回は、災害情報やいざという時に役立つ具体的な知識と行動を学びます。

- 日 時：令和8年1月17日（日）13:30～16:00
- 場 所：きらめきプラザ 3階 301 会議室
- 内 容：①講演「災害に備えた防災意識の向上について」
講師 岡山県自主防災支援講師 太田裕之 氏
②遠隔通訳の実施訓練
- 対象者：登録手話通訳者、登録要約筆記者、聴覚障害者、聴覚障害者の福祉や防災に関心のある方

学校教育との連携

1 岡山聾学校の地域学校協働活動

岡山県聴覚障害者センターは、岡山聾学校が令和7年度に開始した「地域学校協働活動」に協力しています。これまでも、聾学校中学部生徒の職場体験や聾学校寄宿舎生の校外学習などの受け入れを行ってきました。

新たな取組として、聴覚障害者に関わる支援者にも聾学校を知ってもらう機会を増やそうと、岡山県専任手話通訳者会と岡山県要約筆記団体連絡会に呼びかけ、学校見学を行いました。

6月26日（木）に専任手話通訳者会の16名が、9月19日（金）に岡山県要約筆記団体連絡会の要約筆記者15名が訪問しました。中山副校長から岡山聾学校の歴史や教育方針等の説明を受けた後、授業を参観。見学後に先生方との意見交

換もあり、聾学校から「今後もお互いにとって有意義な取り組みが出来たらいいと思う。そのためのアイデアなどを聞かせてほしい。」とのお話がありました。

今後も地域学校協働活動の幅が広がるよう連携をすすめてまいります。

2 センターへの見学

- 岡山市立伊島小学校4年の児童と引率教員合わせて113人が10月29日～31日の3日間にわかれて校外学習で来所しました。
- 岡山市立岡山後楽館高校3年生「福祉実践」選択の生徒と引率教員合わせて6人が12月15日に訪問見学で来所しました。

講座が終わりました

●手話通訳者養成講座

応用課程の岡山会場が11月15日に終わり12人、赤磐会場が12月19日に終わり7人がそれぞれ修了しました。基本課程の真庭会場が12月26日に終わり14人が修了しました。

●要約筆記者養成講座

要約筆記者養成講座が11月30日に終わり18人が修了しました。

令和8年もどうぞよろしくお願いいたします。





新着 DVD 字幕入り DVD が入荷しました。ぜひご覧ください。

●「新美の巨人たち 歌川国芳とアートな町・倉敷×林家たい平」 テレビ東京

未来のアートを先取りしたような国芳の浮世絵は、当時の江戸っ子の魂をわしづかみにした。国芳ファンである落語家の林家たい平が、シュールだがなぜか楽しい国芳ワールドを堪能する。

●「くまもとの風 僕ら、しゅわわん家族！」 NHK

熊本で暮らす写真家の齋藤陽道さん。ろうの齋藤さん夫婦と、聞こえる子どもたちとの生活には、楽しく豊かな手話があふれているが、成長とともに子どもたちには音声言語が増えつつある。そんな『異なり』は寂しいけど嬉しいという齋藤さん。家族の日々を見つめた。

●「情熱大陸 料理研究家 土井善晴」 毎日放送

食事は「一汁一菜でよい」と提案する土井氏に密着し、彼の料理に対する思い・哲学を紹介するほか、実際に具沢山の味噌汁を作る様子も紹介する。

●「情熱大陸 空撮写真家 山本直洋」 毎日放送

山本氏は、プロペラ付きのエンジンを背負って空を飛ぶモーターパラグライダーを操りながら地球（大地）を撮影する空撮写真家だ。彼の「世界七大陸最高峰空撮」に挑む姿に密着する。

渡辺の

ほんなるほど!

今回のテーマ

「確認しよう！マイナ保険証の有効期限」

従来の健康保険証は令和7年12月1日に有効期限が切れました（厚労省の暫定措置で、令和8年3月31日までは資格確認の上で使用可能）。今後は、病院や薬局の受付で「マイナ保険証」（マイナンバーカードに健康保険証利用の登録が必要）か「資格確認書」を提示することになります。

マイナ保険証の利用において、マイナンバーカードの有効期限に注意が必要です。有効期限が2つあり、カード本体の有効期限（カードの表面に記載）と電子証明書の有効期限（ICチップの中の機能）です。特に気を付けていただきたいのは電子証明書の有効期限で、年齢に関わらず「発行日から5回目の誕生日まで」と短いことです。期限が切れ、一定の猶予期間（3か月）を過ぎると保険証としても使えなくなってしまいます。更新の案内は、有効期限の2~3か月前に役所から封筒でご自宅に届きます。スマートフォンや役場の窓口で早めに手続きを行いましょう。その際、設定済みのマイナンバーカードの暗証番号が必要になるため、あらかじめ確認しておくで安心です。

現在、多くの方が更新のタイミングを迎えています。ご自身のカードの有効期限を今一度確認し、不明な点があればお気軽にセンターへご相談ください。



編集後記

センターだよりを送信する際、宛名を確認しながら「あの方は元気かな」と登録者お一人おひとりのことを思い出すひときは、職員が大切にしている時間でもあります。また、封筒にはる切手は、最近では手軽なシールタイプを利用していますが、郵便局へ足を運ぶたびに季節折々のデザインが登場し、選ぶのがささやかな楽しみとなっています。今回はデフリンピック記念切手を選びました。大会のエンブレムやメダル、会場となった駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場や競技の様子がデザインされています。封筒が届いた際、中身とともに表の切手にも注目して楽しんでいただければ幸いです。

開館カレンダー

- ◆開館日 月・水～金曜日 9時～19時
土・日曜日 9時～17時
- ◆閉館日 毎週火曜日、国民の祝日、火曜日が祝日の場合その翌日も休館
※年末は12月27日(土)まで開館し、年始は1月5日(月)から開館します

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	3		1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7	
1	4	5	6	7	8	9	10		2	8	9	10	11	12	13	14	3	8	9	10	11	12	13	14
月	11	12	13	14	15	16	17		月	15	16	17	18	19	20	21	月	15	16	17	18	19	20	21
	18	19	20	21	22	23	24			22	23	24	25	26	27	28		22	23	24	25	26	27	28
	25	26	27	28	29	30	31											29	30	31				